

京都モデル、アジアへ拡大!

・京エコロジーセンターからつなぐ脱炭素のバトン・

プロジェクト最終成果報告会



2024年

12/15_日

🕒 13:30-16:30

対象 どなたでも

定員 150名(先着順)

開催言語 日本語

会場 キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室

参加費
無料

お問い合わせ先

(公財)京都市環境保全活動推進協会

国際事業担当(芝・高橋)

(〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13 京エコロジーセンター内)



JICA草の根技術協力事業「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」

マレーシア南部のジョホール州ジョホールバル市において、ジョホールバル市、イスカンダル地域開発庁、ジョホール州教育局との協働で京都市の環境学習施設「京エコロジーセンター」をモデルとした環境教育・環境保全活動のための拠点施設を設立し、自律的な運営のための技術移転、マレーシアをはじめとするASEAN(東南アジア諸国連合)8自治体における環境教育・環境保全活動推進に向けた活動展開の支援に取り組んできました。(実施期間:2021年10月~2025年1月)

本報告会では、プロジェクト成果の共有とプロジェクトを通じて得た経験をどのように活かすか、京都での環境保全活動の今後の展開について参加者の皆さんと共に考えるパネルディスカッションを行います。

申込
方法

右記のQRコードよりお申込みください。

申込〆切:12月14日(土)まで



主催:(公財)京都市環境保全活動推進協会
共催:京都市



JICA草の根技術協力事業とは

日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人の団体等がこれまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した、途上国への協力活動をJICAが支援し、共同で実施する事業です。(JICAHP抜粋)

京都×マレーシア×ASEAN

・京エコロジーセンターからつなぐ脱炭素のバトン・

第1部

プロジェクト 成果報告

13:30-14:50

- ・プロジェクト概要説明
- ・マレーシアジョホールバル市に開設されたエコセンターでの活動報告
エコセンター専門職員によるプレゼンテーションを実施します。
- ・ASEAN(東南アジア諸国連合)地域での環境活動計画について
研修に参加したASEAN自治体職員によるプレゼンテーションを実施します。

第2部

パネル ディスカッション

15:00-16:30

テーマ

市民が主体の脱炭素社会を実現するために
環境学習拠点が果たす役割とは？

▼ パネルディスカッション 登壇者



コーディネーター

藤野 純一 氏

(公財)地球環境戦略研究機関
(IGES)
上席研究員



パネリスト

大西 啓子 氏

認定NPO法人
きょうとグリーンファンド
理事・事務局長



パネリスト

豊福 はるか 氏

関西学院大学
総合政策学部
国際政策学科4年



パネリスト

Tengku Tarmizi Bin T Aziz 氏

ジョホールバル市
スルタンイスマイル
図書館上級司書
エコセンター専門職員



パネリスト

Kamisah Mohd Ghazali 氏

イスカンダル地域開発庁
レジリエント環境部 部長



パネリスト

新川 達郎 氏

(公財)京都環境保全活動
推進協会理事長
京エコロジーセンター 館長



京エコロジーセンター(略称:エコセン)

京エコロジーセンターイメージキャラクター「ちきゅまる」

地球温暖化防止京都会議(COP3)の開催を記念し、2002年に京都市伏見区に開設されました。環境にやさしい暮らしの提案や、環境保全活動の輪を広げる拠点施設として、多くの方にご活用いただいています。



マレーシアのエコセンター

(Sudut Lestari、マレー語の意味:サステナブル・コーナー)

ジョホールバル市スルタンイスマイル図書館の1階に、京エコロジーセンターをモデルとした環境教育・環境保全活動のための拠点施設として2023年2月に開設されました。

本プロジェクトを通じて17名のエコセンター専門職員、71名の市民ボランティアが育成され、市民の環境意識の向上や脱炭素社会の実現を目指し活動を展開しています。



会場 キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分

公共の交通機関をご利用ください

